



ひのみやぐら



9月6日に行われた藤島地域総合防災訓練

藤島小学校周辺を会場に藤島地域総合防災訓練が行われました。

大規模災害に備え、参加したみなさんも真剣な表情で訓練に取り組んでいました。

主な記事

◎藤島方面隊1年のあゆみ

◎特集

災害対策特集

「その時に備えて！！」

◎梯子乗り・纏振り保存会

◎藤島分署よりお知らせ

◎ファイヤーエンジェルズ

◎班紹介『上藤島』『上荒俣』、事業予定など

火のしまつ 君がしなくて 誰がする

(平成20年度 全国統一防火標語)

藤島方面隊 あゆみ



初任消防団員 研修会

藤島体育館と芝生広場を会場に初任団員研修会が開催され、初任団員44名が参加しました。

藤島分署員とファイヤーエンジェルスの指導の下、心配蘇生法とAEDを使用した普通救命講習を受けた後、藤島方面隊幹部から訓練礼式・器具操作の基礎を学びました。初任団員全員がとても真剣に受講していました。

この経験を生かし、消防団員としてこれからの活躍が期待されます。



5/31 春季消防 大演習

あいにくの空模様のため、藤島体育館に会場を移し、阿部方面隊長を総指揮者に507名の団員・婦人防火クラブによる春季消防大演習が開催されました。

普段の訓練の成果と藤島方面隊の消防力を披露するには狭いスペースながらも各部隊訓練など規律ある迅速な動きで行われました。操法展示、祝贺放水が行えない分、梯子乗り・纏振り演技で華を添え、会場に訪れた方々に鶴岡市消防団藤島方面隊の消防力・士気の高さをアピールできました。



7/8 藤島方面隊 消防操法大会

消防団員にとって1年のうちで最も熱い1日と言っても過言ではない、藤島方面隊消防操法大会。

全ての消防班が参加できる訳ではなく、今年は全体の3分の1、自動車ポンプ1台、小型ポンプ17台が臨みました。出場班はこの日のために、数ヶ月前から厳しい訓練をしてきました。操法とは、火災現場で、『早く』『安全』

審査会の結果

■小型ポンプの部

- 1位 添川2班 (3-1-2)
- 2位 上藤島 (5-1-4)
- 3位 下中野目 (2-2-1)
- 4位 上荒俣 (5-3-3)
- 5位 温泉・西小路 (4-2-2)

■最優秀操作員賞

《小型ポンプの部》

- 指揮者 渋谷弘樹 (添川2)
- 1番員 上林 司 (上藤島)
- 2番員 奥山康光 (小中島)
- 佐藤正宣 (温泉・西小路)

- 3番員 上林 洋 (上藤島)
- 《自動車ポンプの部》(減点0)
- 指揮者 大沼泰和 (4分団)

に『『確実な』消火活動を行うための基本的な所作(動作)の事です。

当日は、夏本番の厳しい暑さと、多くの団員が注目する中、今まで訓練してきた成果を遺憾なく発揮しようとして、緊張の面持ちを浮かべながらも、堂々と操法を展開しました。審査(操法)の終わった班には、会場から労いの拍手が送られていました。



8/13 山形県消防操法 庄内支部大会

真夏の日差しが降り注ぐ中、県消防学校屋外訓練場に庄内各市町の代表(自動車ポンプ10台、小型ポンプ13台)が集結し、庄内支部操法大会が開催されました。

藤島方面隊の代表班(自動車ポンプ/表小路、小型ポンプ/添川2班)は、大会まで藤島分署員や団幹部の指導を得ながら厳しい訓練を積み重ねました。大会では自動車ポンプ・小型ポンプ共に上位入賞を果たし、藤島方面隊の実力を存分に発揮しました。



出場した団員の皆さん、お疲れさまでした。また、昼夜を問わずご指導いただいた藤島分署員の皆様、そしてご協力いただいた地域やご家族の皆様に、心より感謝を申し上げます。

鶴岡市消防団 一年の

庄内平野東縁断層帯を震源とする大地震が発生したという想定により、藤島小学校周辺で総合防災訓練が行われました。

はじめに、藤島小学校児童・職員、自主防災会による避難訓練・バケツリレーによる初期消火訓練が行われました。

児童による応急手当訓練では、本番さながらに負傷者の患部を止血・固定していました。

交通事故救助救出訓練は、消防本部の救助隊が専門の救助器具で、自動車の屋根



総合防災訓練



やドアを取除き負傷者を救出。その見事な作業には、救出に一刻一秒を争う救助のプロ意識を感じました。

消防団員による大規模火災防御・延焼阻止訓練では日頃の訓練の成果を十分に発揮。迅速な消火活動に、沿道で見ていた児童らは真剣な表情。

防災ヘリを使った救助救出訓練も行われ、ヘリコプ



ターから隊員がロープで降下し救助する様子は、緊急時には大変心強いものだと感じさせられました。

給水訓練では、月山水道企業団よりリュック型の給水袋説明を受けました。

給食訓練では、婦人防火クラブの炊出しでおいしいおにぎりが配られました。

交通規制訓練も実施しており、災害時にスムーズな消火・救出ができるように車両等の誘導を行いました。

今回総勢約770名が参加し、防災訓練を実施しました。一人一人が自分のやるべき役割を理解し訓練に取り組んだことにより、防災意識を高め、災害に強いまちづくりにつながったと思います。



例年に無く穏やかな天候のもと、新春恒例の藤島地域消防出初式が藤島公民館を会場に行われました。

初めに、公民館の大ホールにおいて、藤島地域の無火災と安全を願い厳かに神事が行われました。引き続き公民館前にて「観閲」が行われ、次いで団員による「祝賀放水」「梯子乗り纏振り」が披露され、会場で見守る大勢の市民の皆様より温かいご声援を頂きました。

最後に参加した全団員とポンプ車による整然とした分列行進を行い、鶴岡市消防団のトップを切って消防活動がスタートしました。



藤島地域 消防出初式

災害対策特集 その時に備えて!

私たちが住む藤島地域には「庄内平野東縁断層帯」と呼ばれる活断層があります。この活断層が原因で地震が発生すれば庄内地方のほぼ全域で震度6以上の地震が予測されています。藤島地域はほぼ中心に位置しており、過去の地震発生周期から予測して、今後30年間のうちに0%〜6%の確率でM7.5規模の地震が起るとされています。数字の捉え方は人それぞれ違うでしょうが、阪神・淡路大震災も同じ0%〜6%であったと言われています。そこでみなさんに日頃からの準備の大切さを伝えなくてはならないと思います。今回あえて特集記事として取り上げました。

『備えあれば憂いなし』地震などの災害から身を守るために、今からできることを家族のため、自分ため、もう一度準備と確認をしましょう。

実際に災害にあった場合を想定し、次の事を確認しておきましょう。

◇下表に示したように町内会毎に一次避難場所として指定されている場所があります。避難経路の確認をしておきましょう。

◇災害発生時は携帯電話がほとんど機能しません。左図に示した災害用伝言ダイヤル等、どのような方法でお互いを確認するかなど家族間でも話し合いを設けてください。

◇持ち物は最小限にし、車での移動は避け徒歩で移動しましょう。持ち物の目安は3日分、「あれば便利」より「無いと困る」物を準備しましょう。

◇地震直後は建物やブロック塀が崩壊する危険があり大変危険です。そばには近づかないようにし、周辺の状況に注意しながら行動しましょう。

◇大規模な災害が起きたときは「自助、共助」が大切です。近所で声を掛け合い、安否の確認・消火

活動や救助活動を協力して行いましょう。

おわりに、地震は無くすことはできませんが、被害を最小限に抑えることは可能です。近年大規模地震が頻発していますが、過去の教訓を風化させることなく役立て、地域をあげて「減災」に努めましょう。

覚えてください 災害時の声の伝言板

災害伝言ダイヤル
171

大規模な災害時には被災地への通話が集出し、電話がつながりにくくなります。

こんな時に役立つのが「災害用伝言ダイヤル171」です。これは、被災地の方が録音した安否などに関する情報を他の地域の方がお聞きいただけるほか、他の地域の方から被災地の方へメッセージを送ることも可能です。

伝言の録音方法

171にダイヤルする
ガイダンスが流れます

録音の場合 1
ガイダンスが流れます

録音欄: □□□□□□□□□□

伝言の再生方法

171にダイヤルする
ガイダンスが流れます

再生の場合 2
ガイダンスが流れます

再生欄: □□□□□□□□□□

被災地内の方も、被災地以外の方も被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルして下さい

藤島地域の主な一次避難場所

No	施設名	所在地	主な避難対象地域
1	藤島小学校グランド	藤の花二丁目1-1	藤島地区
2	東栄小学校グランド	川尻字町上15-1	東栄地区
3	長沼小学校グランド	長沼字宮前163	長沼地区
4	渡前小学校グランド	渡前字中屋敷1	渡前地区
5	藤島中学校グランド	藤島字笹花86-1	全地域
6	農村環境改善センター運動広場	添川字新地307	添川
7	駅前児童公園	上藤島字備中下50-2	駅前
8	笹花公園	藤島字笹花48-13	中町
9	藤島南部児童公園	箕升新田字大谷地1-1	宝徳・箕升新田
10	藤島子ども広場	藤島字向楯跡65-1	新町
11	藤島河川公園	藤島字川向98	新町
12	八色木農村公園	八色木字西野102	八栄島地区
13	三和農村公園	三和字本田前40-1	三和
14	和名川農村公園	和名川字南田12-1	和名川、砂塚
15	添川農村公園	添川字池苗代33-2	添川
16	東堀越農村公園	東堀越字中田3-1	東堀越

※ 一次避難所とは、災害時に市民が自発的に避難する場所



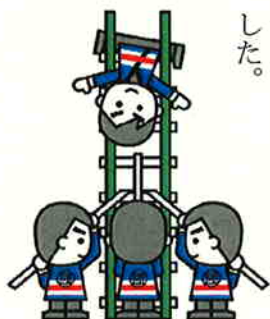
江戸の頃に始まって今も全国津々浦々で行われる出初式、その中で加賀鳶梯子で名をはせる金沢市消防団の勇姿を目の当たりにできた充実の見学でした。

当日はあいにくの雪模様でしたが、始まる頃には雨もやみ、居並ぶ千人以上の式典は粛々と進められ、身

金沢市出初式を見て

梯子乗り隊員 小野寺 一貴

も引き締まった頃合いにいよいよ加賀はしごの演技披露です。たてられた47本の梯子はおさえる団員の手でまっすぐにのび、その整然さは乗る人待っているように見えてとても心躍りました。演技が終わるとふんどし一つで一斉放水です。50もの筒先からの放水は観客ごと会場を水に包みましました。勇壮で華麗な纏と梯子、豪快なふんどし放水は伝統と防災の心意気を強く感じさせてくれました。



とにかくすげえ！

梯子乗り隊員 齋藤 謙介

とにかくすげえ！！

47本の梯子が立ち並び、その上で披露される演技。雪が降る中ふんどし一丁で豪快に纏を振る纏振り。演技者と支え手との信頼感。金沢の梯子登り隊員の俺を見る！という熱気がかなり伝わってきました。

自分も刺激されて新技に挑戦したいという野望が芽生えています。”粋”という言葉を実際に体感したような気がしました。

藤島の梯子乗り・纏振り保存会でももっと盛り上げていって”粋”な演技を披露し”すげえ”と言われるように努力したいと思います。

とにかくすげえ！！



はしご
まどろ

梯子乗り・纏振り保存会

金沢市出初式研修視察

■梯子乗り隊員■

代表

原田 正彦

飯鉢 哲夫

栗田 幹

石川 安彦

齋藤 直八

小野寺 一貴

本間 文裕

太田 晃二

叶野 勇一

齋藤 謙介

■纏振り隊員■

代表

板垣 一紀

布川 嘉浩

高橋 大輔

菅原 和彦